

令和3年度 中津教育事務所 第1回地域授業改善協議会・Web研修



(19分44秒)
中津教育事務所

令和2年度 「授業改善」 総括

「授業構想力」 向上を目指した3重点

重点1：「考えるための技法」を位置付けた、
「ねらい」と「評価規準」との連動

重点2：個の困りを位置付けた、個に応じた指導

重点3：単元構想を意識した、振り返りの位置付け



93%



一定の成果が見られた

事務所訪問時の
指導案で確認

令和3年度 「授業改善」重点

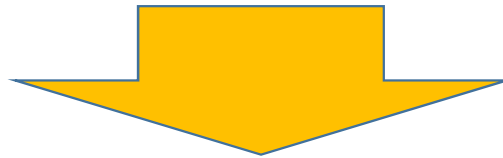
1 単元構想力の向上（R3新規）

2 授業構想力の向上（R2を焦点化）

1 単元構想力の向上

「単元構想力」の捉え

⇒ 「単元計画を作成する力」だけではなく、単元と他教科や日常生活との関連等、教科横断的な視点で 「単元を学ぶ意義」 や 「単元の価値」 を授業者が理解し、単元構想を行う力



児童生徒に 「何のためにその単元を学ぶのか？」 を意識的に感じさせて、単元を学ぶ必然性 を授業に仕組むことが大切

「単元構想力」向上による効果

- ◆全教職員の「カリキュラム・マネジメントに対する意識の向上」
⇒カリキュラム・マネジメントの取組では、他教科等で育成した資質・能力の活用を意識的に行うことにより、確実かつ効果的に資質・能力を育成することを目指していきます。

「『これからの時代に求められる資質・能力を育むためのカリキュラム・マネジメント』の手引き」
(大分県教育委員会) から抜粋

- ◆児童生徒の「授業に対する主体性の向上」
⇒児童生徒に「単元を学ぶ意義」や「単元の価値」を自覚させます。

「学ぶ意義や価値」を子どもに実感させる

先生、なんで
この勉強を
するの？



教科書に載っているからだよ
高校入試に出るからだよ

この内容は生活の◆◆の場面で使えるよ！
教科と教科を関連付けて学べば、より深く
学べるし、新しい発見にもつながるよ！

なるほど！
私の生活に役立つんだね！
学ぶのが楽しみ～！



単元構想力向上を目指した「指導案」

指導案に「単元で付けた力が活用できる場面」を書く欄を設定

○年○組	教科	○ ○	指導者	○○ ○○
単元名・題材名			時	○/全○時間
単元を通して付けた力が活用できる場面	単元を通して付けた力が「生活科」「総合的な学習の時間」「学校行事」「日常生活」等の中で、活用できると想定される場面や言語活動等を記述			
ねらい	A 学習内容（～を/～について）、			
	B 学習活動（～を通して/～からとらえ） ※「考えるための技法」を意識する			
	C 育成を目指す資質・能力（～できるようにする。/～に気付くようにする。/～を高める。）等 ※指導者の立場での記述を推奨			
評価	【評価規準】 (ねらいの「C：育成を目指す資質・能力」にあたる内容を見取るよう設定する)			
	【観点】（新学習指導要領の3観点）	【評価方法】		

この欄を設定



指導案に「単元で付けた力が活用できる場面」 を位置付けるまでの流れ

1 「学習指導要領」等で、児童生徒に
「単元を通して付ける力」を確認する



2 単元を通して付けた力が
「その後の学校教育活動や生活で活用できる
場面」を位置付ける

「単元で付けた力が活用できる場面」の記述例 (全10指導案)

【小学校】

- 2年 算数
- 4年 国語
- 4年 特別の教科 道徳
- 6年 理科
- 6年 外国語

【中学校】

- 1年 体育
- 2年 音楽
- 2年 美術
- 3年 数学
- 3年 英語

小学校 1年算数

【単元を通して付けたい力】

- ・ものの数に着目し、具体物や図などを用いて数の数え方や計算の仕方を考える力

1年〇〇	算数	指導者	〇〇 〇〇
単元名・題材	ひき算	時	1/全12時間
単元を通して 付けた力が 活用できる場面	(例) 【一校一実践】縄跳びで昨日と今日の跳んだ回数の差を求め自分の成長を感じる場面		
ねらい	A 2位数－1位数(13－9)の減法の仕方について、 B 減加法と減減法の2つの解法をブロック操作と関連付けることを通して、 C 見いだすことができるようにする。		

小学校 4年国語

【単元を通して付けたい力】

- ・物語を読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持つことができる力

4年	教科	国語	指導者	〇〇 〇〇
単元名	読んで感じたことや考えたことをまとめよう(ごんぎつね)		時	7/全9時間
単元を通して 付けたい力が 活用できる場面	(例)【言語活動】 物語を読み、感じたことや考えたことをもとに「私のおすすめ『感動本』新聞」を作成する場面 【総合的な学習の時間】 地域調べで、理解したことにもとづいて、感じたことや考えたことを文章にまとめる場面			

教科の特質上、国語や英語では、活用できる場面の設定が困難な場合もあるため、**単元で付けたい力が活用できる場面を【言語活動】や【総合的な学習の時間】の中に意識的に設定**する

小学校4年
特別の教科
道徳

【本時を通して付けたい力】

- ・ 友だちを互いに理解し、信頼し、助け合う力

4年○	特別の教科 道徳	指導者	○○ ○○
単元名・題	泣いた赤おに	時	1/全1時間
単元を通して 付けたい力が 活用できる場面	<p>(例)【特別活動】本当の集団になるため、学級の問題を話し合う場面</p> <p>【人権教育】いじめ・いじりを許さない、差別を生まない指導の場面</p>		
<p>A 赤おにがしくしく泣いたことについて、</p> <p>「別葉」を活用して、他教科等との関連を確認しましょう</p> <p>し 友だちを大切に育む心育を育める。</p>			

小学校 6年理科

【単元を通して付けたい力】

- ・ 自然の事物・現象について追究する中で、より妥当な考えをつくり出し、表現する力

6年○	理 科	指導者	○○ ○○
単元名・題	土地のつくりと変化	時	5 / 全9時間
単元を通して 付けたい力が 活用できる場面	(例)【防災教育】自然災害に対する防災意識を高める場面		
ねらい	A 大分県北部の土地の構成物について、 B ボーリング地層資料内の堆積物と、図書やインターネットで入手した情報を関連付け、構成物を予想する活動を通して、 C 理解できるようにする。		

小学校
6年外国語

【単元を通して付けたい力】

- ・「学年オリンピック」でやってみたい競技について伝え合い、会話を続ける力（⇒話すこと【やり取り】）

6年○	外国語	指導者	○○ ○○
単元名・題	学年オリンピックを開催しよう！	時	3/全7時間
単元を通して 付けたい力が 活用できる場面	<p>(例)【言語活動】 学年オリンピックのポスター作成を目指し、友だちと英語でやりとりする場面 【総合的な学習の時間】 修学旅行先で会った外国人観光客に、日本でやってみたいことをインタビューする場面</p>		
ねらい	<p>A What sport do you want to try? I want to try ~等を用いたやりとりについて、 B 一番希望の多い競技を予想し、それを検証するためのインタビュー活動を通して、 C 自分の考えを伝え合うことができるようにする。</p>		

【単元を通して付けたい力】

- ・リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で自由に弾んで踊る力

中学校
1年体育

1年〇〇	教科	体育	指導者	〇〇 〇〇
単元名・題		ダンス	時	8/全10時間
単元を通して 付けたい力が 活用できる場面	(例)【体育大会】ダンス種目で、勢いよく息の合ったダンスを表現する場面			
ねらい	A 弾むようなリズムで踊るダンスのステップを、 B 踏み出す足の広さや上半身との連動を工夫し、動画で撮影前後の動きを比較・改善することを通して、 C 表現できるようにする。			

中学校
2年音楽

【単元を通して付けたい力】

- ・歌唱表現に関わる知識や技能を生かしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する力

2年()	教科	音楽	指導者	〇〇 〇〇
単元名・題名	曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫しよう (合唱曲「時の旅人」)		時	2/全7時間
単元を通して 付けたい力が 活用できる場面	(例)【音楽発表会】合唱コンクール等で、曲想やハーモニーを感じながら学級や学年で一つの曲を合唱する場面			
ねらい	A 「時の旅人」の歌詞と曲想について、 B 歌詞の意味、強弱・速度の変化に着目し、作曲者の意図を多面的に捉える活動を通して、 C 理解できるようにする。			

【単元を通して付けたい力】

- ・ 伝える目的や条件などを基に、伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練る力

中学校
2年美術

2年C	教科	美術	指導者	〇〇 〇〇
単元名・		平和の大切さを訴えるデザインポスターを創ろう	時	4 / 全7時間
<u>単元を通して 付けた力が 活用できる場面</u>		(例)【平和学習】平和集会で掲示するポスター作成の場面		
ねらい		A 絵、写真、文字の効果的なレイアウトについて、 B アイディアスケッチを持ち寄り、「インパクト」と「色使い」が視点の座標軸上に位置付ける活動を通して、 C 構想を練ることができるようにする。		

【単元を通して付けたい力】

- ・ 図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力

中学校
3年数学

3年C組	数 学	指導者	〇〇 〇〇
単元名・期間	相似な図形	時	17/全21時間
単元を通して 付けたい力が 活用できる場面	(例)【日常生活】 地図上で実際の距離を求める場面 【日常生活】 小さな部品の設計図を正確に描く場面		
ねらい	A 相似比1: の2つの相似な図形の面積の比が1: になることについて、 B 具体的な三角形の敷詰めから相似比と面積の比の関係を見出し、 文字を用いて一般化する活動を通して、 C 説明できるようにする。		

中学校
3年英語

【単元を通して付けたい力】

- ・ 日常的な話題について、情報を整理し、関係代名詞を用いてまとまりのある文章を書く力

3年C組	教科	英語	指導者	〇〇 〇〇
単元名・単元目標	自分の学校を世界にPRしよう (Sunshine3 PROGRAM5 The Story of Chocolate)		時	3/全7時間
単元を通して 付けたい力が 活用できる場面	<p>(例)【言語活動】 海外に向けて、自分の町をPRする文章を、 関係代名詞を用いて書く場面</p>			
ねらい	<p>A 自分が憧れる人物の紹介について、 B 調べた情報にもとづき関係代名詞を用いて書く活動を通して、 C 自分の考えや思いを表現することができるようにする。</p>			

指導案に「単元で付けた力が活用できる場面」 を位置付けるまでの流れ

1 「学習指導要領」等で、児童生徒に
「単元を通して付ける力」を確認する



2 単元を通して付けた力が
「その後の学校教育活動や生活で活用できる
場面」を位置付ける

★指導案10例の内、「小学校の5例」「中学校の数学」の計6例については、本時案を付けてポータルサイトにアップしています。

2 授業構想力の向上（R2を焦点化）

- (1) 「ねらい」の明確化
- (2) 「ねらい」と「評価規準」の整合

(1) 「ねらい」の明確化（⇒重要性）

授業者が授業を行う上で、最も大切なのが「ねらい」です。「ねらい」には「A（学習内容）」「B（学習活動）」「C（育成を目指す資質・能力）」が明記されています。つまり、**「ねらい」は「授業の骨子」**であり、しっかりとした「ねらい」を書くことこそが、授業改善の第1歩なのです。



(1) 「ねらい」の明確化

A・B・Cの3つの
要素を入れる

ねらい

A 学習内容（～を／～について）、

B 学習活動（～を通して／～からとらえ） ※「考えるための技法」を意識する

C 育成を目指す資質・能力（～できるようにする。／～に気付くようにする。／～を高める。等

※指導者の立場での記述を推奨

●Aが学習内容（追究対象）になっているか？

例 ×「かけ算の場面を」 ⇒ ○「かけ算の仕方を」

●AとCをつなげて読んでも意味の通る文になっているか？

☆意味の通る文になることのメリット

“どの内容でどんな力を付けたいのか（授業者の意図）が明確”

●Bの学習活動に「考えるための技法」を意識しているか？

☆位置付けることのメリット ⇒ 児童生徒の主体性を促進

“子どもにどんな頭の使い方をさせたいのかが明確”



(2) 「ねらい」と「評価規準」の整合

ねらい	A 学習内容（～について）、
	B 学習活動（～からとらえ） ※「考えるための技法」を意識する
評価	C 育成を目指す資質・能力（～できるようにする。／～に気付くようにする。／～を高める。等） ※指導者の立場での記述を推奨
	【評価規準】 (ねらいの「C：育成を目指す資質・能力」にあたる内容を見取るよう設定する)
	【観点】（新学習指導要領の3観点）
	【評価方法】

●A（学習内容）と【観点】は整合しているか？

☆「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料（国立教育政策研究所 <http://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryoku.html>）」で、本時の学習内容が3観点のどれにあたるか確認する

- ◆ 単元を通して付けた力が活用できる場面
- ◆ 「ねらい」の明確化
- ◆ 「ねらい」と「評価規準」の整合

事務所学校訪問で把握します

- ★ 「授業構想」についての詳しい解説は
【令和2年度第1回地域授業改善協議会・Web研修資料】
をご視聴ください。



大分県公立学校総合情報ポータルサイト

[ホーム](#)[お知らせ](#)[慶弔のお知らせ](#)[振替休校のお知らせ](#)[ICT等実践事例、情報モラル・セキュリティ等](#)[動画（会議・説明会）](#)[お知らせへの投稿方法](#)

1. 関連リンク

- ・ [文部科学省](#)
- ・ [大分県教育委員会](#)
- ・ [大分県](#)
- ・ [大分県教育センター](#)
- ・ [まなびの広場おおいた](#)

関連機関

- ・ [大学入試センター](#)

2. 大分県の教育情報化

- ・ [教育情報化の推進計画](#)
- ・ [教育の情報化実態等の調査](#)
- ・ [学校情報セキュリティポリシー](#)

3. 困った時は・・・

パソコンやシステムの操作や不具合等で困った時は、**大分県教育委員会ヘルプデスク**へ気軽にご連絡ください。専門のスタッフが対応いたします。

TEL : 097-506-5466/5467/5468

Email : helpdesk@oen.ed.jp

(対応時間：平日の8:30～17:15)

[動画（会議・説明会）>](#)

中津教育事務所

[説明資料](#)[視聴の準備ができています](#)

- 「説明資料」をクリックすると、研修用の補足資料がダウンロードできます。
- 校内研修などに、ぜひ活用してください。



**最後まで、ご覧いただき
ありがとうございました。**

**今年度も
よろしくお願いいたします。**